

○ 中学校社会 第1学年 ③

「世界の調査（中国料理の特色）」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	<p>世界一の人口を支える中国の農畜産物の生産量と消費量の位置付けについて、中国やアメリカ、インド、EUについてこれまでに学んだ知識などをもとに、比較表の数値から判断する問題である。</p>	<p>内容(1)－エのうち、中国料理の作られている地理的条件を中心とした活用問題である。</p> <p>問題を解く際には、二人の生徒の会話の内容を手がかりに、提示された資料を読み取り、その情報や既習の知識などを活用して、授業で学んだことを転用させていくことが大切である。</p>	○	◎	○
(2)	<p>中国料理に関する会話の内容から、北京料理の特色について説明できるかを見るとともに、北京料理が多く作られている地方の気候条件について、会話内容や提示地図、雨温図などから得られる情報を関連付けて選択できるかをみる問題である。</p>	<p>解答に当たっては、地理的な見方や考え方を身に付けさせるために、問いに対して資料等から自分自身が判断した根拠を自分の言葉で簡潔にまとめることにより理解を深化させることをねらいとしている。</p>	◎	○	
(3)	<p>中国料理に関する会話の内容と資料から得られる情報とを関連付け、四つに分けた地域の中から四川料理が多く作られている地域を選択すると共に、その地域を選択した理由を説明できるかをみる問題である。</p>		◎	○	○